

# 美濃陶磁歴史館だより

美濃陶磁歴史館  
☎️1245

企画展 「土岐市の古窯一郷ノ木古窯跡群」  
11月24日(日)まで開催

## 地区ごとによる生産様相の違い

名古屋から信州飯田を結ぶ中馬街道は江戸時代以前から農産物などを馬で運ぶ道として使用されていました。こ  
の中馬街道筋付近には、曾木町にある郷ノ木古窯跡群以外に大川古窯跡群（大川東古窯跡群・大川西古窯跡群）・水  
上向窯古窯跡群・田ノ尻古窯跡群・猿爪古窯跡群（瑞浪市）が点在しています。安土桃山時代（16世紀後期）から  
江戸時代（17世紀）にかけて操業し、生産された製品には、郷ノ木古窯跡群と類似するものが多数認められる一方、  
各窯独自のものもみられます。他方で中馬街道筋の古窯跡群の北西に位置する久尻地区の古窯跡群（元屋敷陶器窯  
跡など）では、瀬戸黒、黄瀬戸、志野、織部といった美濃桃山陶を多数焼成しています。このように同時代であ  
っても窯場ごとで特徴ある製品を生産していたことがうかがえます。地区ごとによる生産内容の違いは、窯が所在す  
る地域を治めていた領主や、製品を販売する商人が異なっていたためだと考えられています。



大川東古窯跡群  
(瑞浪市陶磁資料館蔵)



田ノ尻古窯跡群  
(瑞浪市陶磁資料館蔵)



元屋敷陶器窯跡：重要文化財  
(土岐市美濃陶磁歴史館蔵)

土岐市美濃陶磁歴史館受付スタッフ募集 勤務日は、週3日程度 ※詳細は当館にお問い合わせください

## カガクへのトビラ Vol.10

核融合科学研究所 / 総合研究大学院大学 (☎️2222)

### 1億度って、どうやって測るの？プラズマの温度を計測する方法

核融合によりエネルギーを取り出す、つまり核融合発電の実現のためには、プラズマの温度を1億度以上にす  
る必要があります。では、そのような温度はどうやって測るのでしょうか。

普段使う温度計では1万度でも測れません。実は温度とは、原子や分子といった粒子が激しく動く程度を表し  
ているのです。プラズマ中の1億度の水素イオンは、およそ秒速1,600キロメートルで動き回っており、これは  
1秒間で福岡から札幌まで行けるといふものすごい速度です。水素イオンは光を出しません、プラズマ中には  
ごく少量ですが炭素などの不純物が混ざっています。この炭素などのイオンは光を出して激しく動き回るため、  
外に出てくる光の波長、つまり光の色が広がってきます。救急車がサイレンを鳴らしながら近づいてきたり、遠  
ざかったりすると音色が変わりますね。この音色の変化は救急車のスピードによって決まります。(ドップラー  
効果と呼ばれる現象で、速度違反の取り締まりにも使われています。) これと同じことが光でも起こり、光の色  
の広がりや測定することで温度を測ることができるのです。

プラズマの性質を調べるためには、温度をは  
じめとしてさまざまな測定をする必要がありま  
す。しかし、このような極限状態のプラズマを  
測定すること自体がとても難しいことなので、  
どのようにして測るのかと、多くの研究者がい  
ろいろと考えてチャレンジしています。

スピードで音色が変わります ピーポーピーポー  
ぱーぱーぱーぱー

